

22

正答例と解説  
6年「拡大図と縮図」

[考え方のポイント]  
対応する辺の長さとの倍率の関係をとらえよう

(1)の正答例

式

$$21 \times 1.3 = 27.3$$

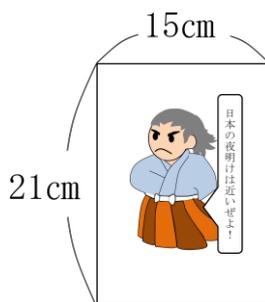
答え ( 27.3 cm )

倍率 130%とは、「1.3 倍に拡大する」  
ということです。

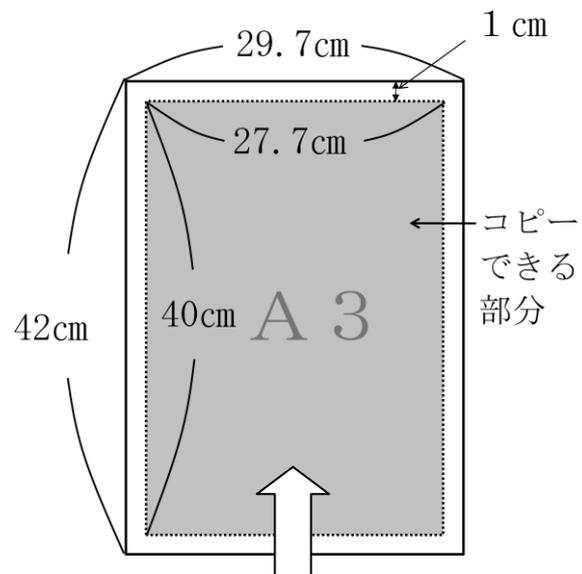


(2)の正答例

答え ( イ )



拡大してコピー



コピーできるはんいは、  
縦 40 cm, 横 27.7 cm の長方形になります。

### 倍率ごとの縦と横の長さ

- |   |      |   |             |           |
|---|------|---|-------------|-----------|
| ア | 180% | → | 縦 37.8 cm,  | 横 27 cm   |
| イ | 184% | → | 縦 38.64 cm, | 横 27.6 cm |
| ウ | 190% | → | 縦 39.9 cm,  | 横 28.5 cm |
| エ | 198% | → | 縦 41.58 cm, | 横 29.7 cm |



アも A3 サイズの紙に全部入るけれど、  
「できるだけ拡大して」という条件だから  
答えはイになるね。

(3)の正答例

説明

イラストをもっと縮小するために2回コピーを取ります。

まず、イラストを80%でコピーを取ります。

すると、縦16.8 cm、横12 cmの長方形になります。

次に、縮小されたイラストを25%でコピーを取ります。

すると、縦4.2 cm、横3 cmの長方形になります。

このように、まず80%でコピーを取り、次に25%でコピーを取ると、

$$0.8 \times 0.25 = 0.2$$

となり、倍率20%でコピーを取ったことになります。

解答のポイント！

- 2回目のコピーの倍率が25%であること
- はじめに80%、次に25%でコピーすること
- $0.8 \times 0.25 = 0.2$  で20%ということ

図を使って考えよう

